

第 40 回 知的財産管理技能検定 3 級 学科試験

(はじめに)

すべての問題文の条件設定において、特に断りのない限り、他に特殊な事情がないものとします。また、各問題の選択枝における条件設定は独立したものと考え、同一問題内における他の選択枝には影響しないものとします。

特に日時の指定のない限り、2021年5月1日現在で施行されている法律等に基づいて解答しなさい。

解答は、選択枝ア～ウの中から1つ選びなさい。

問1

ア～ウを比較して、著作物に関して、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 著作権法第10条第1項に規定されている著作物のみが、著作物として保護される。
- イ 美術工芸品は、美術の著作物として保護される。
- ウ 作曲家の頭の中にある楽曲の構想は、著作物として保護される。

問2

ア～ウを比較して、商標権に関して、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 日本国内で3年以上登録商標を指定商品について使用していない場合、不使用取消審判が請求され商標登録が取り消される場合がある。
- イ 商標権は、商標登録出願の日から10年後に消滅するのが原則であるが、更新登録によって更に10年間存続させることができる。
- ウ 商標権の設定の登録を受ける者は、登録料を分割して納付することはできない。

問3

ア～ウを比較して、商標権に基づくライセンス契約に関して、最も不適切と考えられるものはどれか。

- ア 指定商品が複数ある場合、指定商品ごとに専用使用権を設定することができる。
- イ 商標権が共有に係るときは、各共有者は、他の共有者の同意を得なくても、他人に専用使用権を設定することができる。
- ウ 同一の指定商品について、複数人に通常使用権を許諾することができる。

問4

ア～ウを比較して、特許法で規定されている発明の種類として、最も不適切と考えられるものはどれか。

- ア 物の発明
- イ 物品の形状の発明
- ウ 方法の発明

問5

ア～ウを比較して、著作権等が侵害された場合に著作権者等がとり得る措置として、最も不適切と考えられるものはどれか。

- ア 名誉回復の措置の請求
- イ 損害賠償請求
- ウ 登録移転の請求

問6

ア～ウを比較して、1つの特許出願を多数国への特許出願として取り扱う国際的な取決めとして、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 特許協力条約（PCT）
- イ TRIPS協定
- ウ マドリッド協定議定書

問7

ア～ウを比較して、著作権の制限に関して、最も不適切と考えられるものはどれか。

- ア 未公表の著作物を引用して利用することができる。
- イ 私的使用目的であっても、インターネット上で、違法な複製物と知りながら当該複製物をダウンロードすることはできない。
- ウ 絵画の著作物の原作品の所有者は、当該著作物の著作権者の許諾を得ずに当該原作品を公に展示することができる。

問8

ア～ウを比較して、特許出願についての出願審査の請求に関して、最も不適切と考えられるものはどれか。

- ア 特許出願人以外の第三者は、出願審査の請求をすることができる。
- イ 特許出願人のみが、出願審査の請求の取下げをすることができる。
- ウ 出願審査の請求がされなければ特許出願の審査は行われない。

問9

ア～ウを比較して、不当な取引制限を行っている事業者に対し当該行為を差し止める排除措置命令を行う行政機関として、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 国土交通省
- イ 経済産業省
- ウ 公正取引委員会

問10

ア～ウを比較して、著作権に関して、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 著作権者から許諾を得て適法に販売された写真の著作物の複製物の所有者は、有償であっても著作権者に無断で公衆に貸与することができる。
- イ 著作権者から許諾を得て適法に販売された映画の著作物の複製物の所有者は、有償であっても著作権者に無断で公衆への上映目的で貸与することができる。
- ウ 著作権者から許諾を得て適法に販売された音楽の著作物の複製物の所有者は、有償であっても著作権者に無断で公衆に譲渡することができる。

問11

ア～ウを比較して、意匠として登録される可能性が高いものとして、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 映画等のコンテンツを表した画像
- イ 純粋美術品
- ウ 物品の部分の形状

問12

ア～ウを比較して、商標登録出願の審査又は手続に関して、最も不適切と考えられるものはどれか。

- ア 商標登録出願に係る内容は、商標登録されるまでに出願公開されることがある。
- イ 商標登録出願については、出願審査の請求をしなくても実体審査が行われる。
- ウ 文字のみから構成される商標について商標登録出願をしたときは、登録前であれば、当該出願に係る商標に図形を追加する補正をすることができる。

問 1 3

ア～ウを比較して、発明の進歩性に関して、最も不適切と考えられるものはどれか。

- ア 進歩性の判断に際しては、出願前に頒布された刊行物に記載された発明のみならず、出願前に電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明も審査の資料として用いられる。
- イ 当業者とは、その発明の属する技術分野における高度な知識を有する者をいう。
- ウ 進歩性の判断時は、新規性の判断時と同様に特許出願時である。

問 1 4

ア～ウを比較して、不正競争防止法に規定される不正競争行為のうち、他人の商品等と混同を生じさせることを要件とする行為として、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 他人の商品の形態を模倣した商品を譲渡する行為
- イ 他人の周知な商品等表示を使用する行為
- ウ 競争関係にある他人の営業上の信用を害する虚偽の事実を流布する行為

問 1 5

ア～ウを比較して、著作権法上の保護対象に関して、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 地図は、著作権法上の保護対象となる。
- イ 著作権法の条文自体は、著作権法上の保護対象となる。
- ウ 編集著作物として保護されるためには、素材の選択及び配列の両方に創作性を有さなければならない。

問 16

ア～ウを比較して、弁理士が他人の求めに応じ報酬を得て行う独占代理業務として、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 特許庁における出願手続の代理
- イ 特許料の納付手続についての代理
- ウ ライセンス契約における契約締結の媒介

問 17

ア～ウを比較して、パリ条約第4条で規定する優先権の優先期間として、最も不適切と考えられるものはどれか。

- ア 12か月
- イ 9か月
- ウ 6か月

問 18

ア～ウを比較して、特許に関する次の文章の空欄 ～ に入る語句の組合せとして、最も適切と考えられるものはどれか。

特許は、技術的 の創作である発明に対して認められ、特許権を有する者又はその許諾を受けた者が特許発明を することができる。

- ア = 思想 = 実施
- イ = 手段 = 実施
- ウ = 思想 = 利用

問 19

ア～ウを比較して、著作権の存続期間に関して、最も不適切と考えられるものはどれか。

- ア 職務著作に係る著作物の著作権の存続期間は、その公表された日の属する年の翌年1月1日から起算する。
- イ 著作者がわからない彫刻の著作物の著作権の存続期間は、著作権の登録をした日の属する年の翌年1月1日から起算する。
- ウ 映画の著作物の著作権の存続期間は、その公表された日の属する年の翌年1月1日から起算する。

問 20

ア～ウを比較して、特許発明の技術的範囲に関する次の文章の空欄 に入る語句として、最も適切と考えられるものはどれか。

特許発明の技術的範囲は、願書に添付した の記載に基づいて定めなければならない。

- ア 特許請求の範囲、明細書及び要約書
- イ 特許請求の範囲及び明細書
- ウ 特許請求の範囲

問 21

ア～ウを比較して、特許出願についての出願公開の請求又は特許掲載公報の発行に関して、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 公開特許公報の発行前であれば、出願公開の請求を取り下げることができる。
- イ 特許掲載公報の発行の日から6カ月以内であれば、特許異議の申立てをすることができる。
- ウ 何人も出願公開の請求をすることができる。

問 2 2

ア～ウを比較して、商標権及び地理的表示に関して、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 商標権の効力は、指定役務の普通名称を普通に用いられる方法で表示する商標に及ぶ。
- イ 登録商標は不正に使用されていても、その事実をもって当然に商標権が失効することはない。
- ウ 登録された地理的表示が不正に使用されている場合、特許庁長官がその表示の除去を命じる場合がある。

問 2 3

ア～ウを比較して、意匠権の存続期間に関する次の文章の空欄 ～ に入る語句の組合せとして、最も適切と考えられるものはどれか。

意匠権の存続期間は、 から であって、その存続期間の延長を請求することが 。

- ア = 登録日 = 10年 = できる
- イ = 登録日 = 25年 = できない
- ウ = 出願日 = 25年 = できない

問 2 4

ア～ウを比較して、著作権の侵害に関して、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 違法にアップロードされた著作物のうち音楽又は映像を私的使用目的でダウンロードする行為は違法であるが、違法にアップロードされた著作物のうち漫画をダウンロードする行為は違法ではない。
- イ 法人等の従業者がその業務において著作権を侵害した場合は、行為者本人ではなく、使用者である法人等が刑事罰の対象となる。
- ウ 他人の著作物の存在を知らずに、当該著作物に酷似した作品を創作した場合は、その他人の著作権の侵害とならない。

問25

ア～ウを比較して、特許権に係る契約に関して、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 特許権が共有に係るときは、各共有者は、他の共有者の同意を得なくとも、自己の持分を譲渡することができる。
- イ 特許権者は、自己の特許権の全範囲について、専用実施権を設定したときには、特許発明を実施できない。
- ウ 特許権者は、内容、地域、期間を限定して他人に通常実施権を許諾することはできない。

問26

ア～ウを比較して、特許協力条約（PCT）において規定されている制度に関して、国際事務局が行うものとして、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 国際公開
- イ 国際調査
- ウ 国際予備審査

問27

ア～ウを比較して、著作権法に規定する著作者人格権等に関して、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 著作者人格権及び著作権の享有には、いかなる方式の履行をも要しない。
- イ 実演家は、実演家人格権として公表権と同一性保持権を有する。
- ウ 著作者の意に反して著作物を改変することは同一性保持権の侵害となるが、著作物の題号を変更することは同一性保持権の侵害とならない。

問28

ア～ウを比較して、品種登録の要件に関して、最も不適切と考えられるものはどれか。

- ア 出願品種の種苗又は収穫物が、日本国内において、品種登録出願の日から1年6カ月前に、業として譲渡されていた場合でも、品種登録を受けることができる。
- イ 出願品種の種苗が、出願前に外国で公知であった他の品種と特性の全部によって明確に区別できない場合は、品種登録を受けることができない。
- ウ 出願品種について、繰り返し繁殖させた後において特性の一部が変化する場合は、品種登録を受けることができない。

問29

ア～ウを比較して、商標法の保護対象として、最も不適切と考えられるものはどれか。

- ア 香りのみからなるもの
- イ 色彩のみからなるもの
- ウ 音のみからなるもの

問30

ア～ウを比較して、著作者等に関して、最も適切と考えられるものはどれか。

- ア 職務著作に係る著作物の著作者人格権は、著作物を創作した従業者と法人その他の使用者が共有する。
- イ 映画の著作物の著作者とは、映画の著作物の製作に発意と責任を有する者をいう。
- ウ 共同著作物とは、2人以上の者が共同して創作した著作物であって、その各人の寄与を分離して個別的に利用することができないものをいう。

【第40回知的財産管理技能検定】

【3級学科】

番号 正解

問1 イ
問2 ア
問3 イ
問4 イ
問5 ウ
問6 ア
問7 ア
問8 イ
問9 ウ
問10 ウ
問11 ウ
問12 ウ
問13 イ
問14 イ
問15 ア
問16 ア
問17 イ
問18 ア
問19 イ
問20 ウ
問21 イ
問22 イ
問23 ウ
問24 ウ
問25 イ
問26 ア
問27 ア
問28 ア
問29 ア
問30 ウ